

モニターから・編集室から

広大フォーラム第六号に対して寄せられたモニターからの意見を紹介します。回収率は一七％です。

☆「退職者特集」のあり方についての意見

学生 「自分の知らない人のことなのであまりパツとしない。知らない人でも興味を持てるようにして欲しい」。

教職員 「各著者の深い経験に基づく意識

年代の流れが感じられる。ただ企画の構成として、巻頭、本人の記事、送る言葉といったお決まりの構成は改善できないだろうか。このようにしたら良いという具体案はありませんが、定年退職者の座談会で将来に向けた大学のあり方等の意見をお聞きすることか：、「自分が一度でも接したことがある先生の退職をお聞きすると、心に感じるものがあります。地味ですが是非続けていた方がいいと思います」、「これでよい。楽しんで読みました。ご本人とそれに関係する人のコメントの組み合わせで構成されているのも良い。教年間はこのスタイルで言うてはと思います」、「毎年興味深く拝見しており、これからも是非続けていただきたいと思えます。長年お勤めになった方の文章には非常に興味深いものがあります。時々なじみの顔を見つめるのも楽しみです」、「今年は何年より紙面作りなどが明るい感じで、良い雰囲気だと思ふ。ご本人の意思もあるでしょうが、極力写真はあつた方がよいと思ふ」、「自分に関連する先生方の記事は読みたく思いました」。

学外 「必要な特集だと思ひますが、スペースは半分ぐらいでよいのではないですか」。

以上、教職員にはおおむね好評であつたが、「自分に関連する先生方の記事は読む」とあつたように、学生には退屈な特集だったのかもしれない。

☆「開かれた学問」についての意見

学生 「自分の知らない分野のことだが、なかなか面白い」。

教職員 「研究者の研究内容紹介を目的と

した企画と思ひますが、専門的になりがちで、若干難しくなる感じがします。豆知識的コラムでテクニカルチームをやさしく解説するなどはできないでしょうか。なお、深田先生の記事は大変興味深く読ませていただきました。「毎回、今号ぐらいい噛み砕いて分かり易い内容だとありがたいのですが、あまり化学式など多用される専門的な内容にしないでいただければよろしいかと思ひます」、「今回の「脳がステロイドをつくる」は少し難しかった。もつと一般の読者にも気楽に読めるよう配慮を願ひたい。記事も長すぎるので、二ページ程度とすゝる」、「面白い研究だと思つて読む場合もあります。専門家以外の人でも面白く分かるように書いていただけると良い」、「いろいろな学問分野のトピックスが分かり易く書かれており、とてもためになるページだと思ふ」、「親しみにくい学問が身近に感じられて、良いシリーズだと思ふ」。

学外 「大学広報誌としては重要な企画で、

一層の充実が期待されます。あえて言えば、もう少し工夫の余地があります。専門外の人に読みやすく。例えば『脳とステロイド』など」といふ意見が寄せられた。このシリーズは、分かり易い記事にすればフォーラムの読者の期待に届けることができる、と編集室では自信を持ちました。

☆六号で興味深かつた記事三つを尋ねたところ、「千田との思い出」が八名と一番多く、「開かれた学問」五名、「退職者特集」五名（ただし教職員のみ）であり、「フォトエッセイ」、「留学生の眼」、「中国文化賞」、「フェニックスゴミ拾い大会」、「景山満子誌上作品展」をそれぞれ一名の方が挙げて下さつた。

☆「あればいいなと思ふ連載もの」をお聞

きたところ、学生からは「もつと趣味的な要素の強いもの」といふ意見が寄せられた。教職員からは「例えば今年再接近する彗星や、O-157、プリオン蛋白など、一番ホットなトピックスを専門家によつて解説していただければと思ひます。せつかくの専門家集団の総合大学だから」、「本部も移転を完了した。そこで旧キャンパスの思い出の写真集をねらい、構成員全員に呼びかけ、本誌で思い出Photoといった記事を募つては。若い学生には興味がないかもしれませんが「キャンパスのフォトエッセイ」です」、「研究の成功にはふとした発想の転機や、思ひもよらない発見が、Starting pointになつている場合があると思ひます。このような研究の成功のきっかけになつたようなものの記事を連載できれば面白いと思ひます」、「学生・教職員から担当部局への質問コーナー。例えば図書館のサービスについての疑問点を載せ、図書館の回答を載せる」といふ貴重な意見をいただいた。

広報委員会でも考えていた意見と合致するものもある。できるところから始めたいと思ひます。その節には皆様のご協力をお願いいたします。

☆六号に関する印象や感想

学生 「ちよつと堅い」。

教職員 「裏表紙でもつたいたいような

気がします。景山女史の作品、たいへん暖かく拝見しました。「今号は、地味ながら比較的（最近になく）充実していたと思ふ」、「裏表紙の絵画がよい。しかし解説の記事が読み難く惜しい」、「先日、身近な学生・教官の方々に『広大フォーラム』を読んでいますかと質問したところ、多くの学生が『堅い記事ばかりなので読まない』と答えました。どの程度読まれているのか一度アンケートしてみてもどうでしょうか」、「裏表紙は美しいが、表紙はあまりきれいでない」。

学外 「好村、渡部、嶋屋さんたちもお辞

めになるのですか。寂しいですね。鈴木章永氏の証言載せてくれてありがとうございます。貴重です。「年度末と年度始めは面白くないものになりがちです。それだけに工夫のしがいがありそうですね」。

編集室から

モニターの皆様にはいつも貴重なご意見をいただき、感謝しております。今号は退職者特集号とした関係で、学生にはあまり人気がなかつたのかもしれないが、学生モニターの回収率が低いのが残念です。

広報委員会でも、「退職者特集号」は関係のある人には興味があるろうが、関係のない人は読まないだろうという意見が出ました。しかし、これまで本学のために尽くしてくださつた退職者の方々への意見は貴重で、傾聴に値すると判断しました。

六号は誤植も多く、読者の皆様には御迷惑をおかけしました。本誌をよくするためには皆様の意見が今後とも必要です。